

講座名	ニュースで学ぶ時事英語講座
講師紹介	公立小松大学 教授 島内 俊彦

<p>講座内容</p>	<p>社会人の方々が独学で英語学習をする上では、さまざまな苦労があると思います。その一つに最新の情報を英語で学びたいが、自身の解釈が正確かどうか分からない、という点があるかと思います。</p> <p>出版された教材であれば、語句や文法事項の説明、そして場合によっては訳文が記載されているため、そのような問題は生じませんが、文章の鮮度がどうしても古くなることは否めません。鮮度が古いと、場合によっては学習の意欲が減退することもあるかもしれません。</p> <p>時事英語を学ぶのであれば、英字新聞・雑誌（含むウェブ版）を利用することで、世界各国の最新動向を学べますので、学習意欲を維持することが期待できます。しかし冒頭に述べたような問題が生じてしまいます。</p> <p>そこで本講座では、鮮度の高い英文記事を利用することで、英語学習の楽しみを改めて感じて頂きたいと考えています。ただし鮮度が高くても、身近な事例ではない場合、英語の読解力とは関係のない、海外情勢に関する背景知識が必要になることがあります。これらの知識を身につけることは語学学習に付随する楽しみではありますが、独学の学修者には少し負担が大きくなることも考えられます。</p> <p>そのような観点から、講座では日本の最新情勢を海外に発信するNHK Worldの記事を利用します。同一内容の記事が日本語でも公開されているため、各自の解釈が正しいかどうかを自身で確認することもできます。また、日本語と英語の記事の構成の違いから、両言語の発想の違いや、想定読者の違いによる編集者・著者の配慮などを理解できるようになります。どのような読者に記事を届けるか、それによって記事の書き方や内容が変わることを体験することで、各自の作文力にも裨益するものがあるでしょう。</p> <p>同時にauthenticな英語に触れたいという方のため、そして今後の更なる学習への足がかりとするため、米国のquality papersであるNew York TimesやWashington Post、英国の知性を代表するBBCの記事・原稿も利用し、英語で世界の動向や流行などを読解していく予定です。</p>
<p>こんな方におススメ</p>	<p>英字新聞・雑誌の記事を利用したいが、まだそのために必要な力が十分には養えていないと自覚されている方にお勧めです。</p> <p>すでに利用していて、十分な読解力のある方も歓迎いたします。ただし、ご期待するほどの進捗では講義は進まないことを予めご了承の上、お手続きください。</p>

その他	<p>大学の教育では、英語の資格試験対策（TOEICやTOEFL,IELTS）や、英文読解に関する科目を担当しています。とくに英文読解では単なる訳読には終わらせず、高校時代までの英文法に基づき、英文の構造把握を重視した指導をおこなっています。あわせて同義語・反義語・派生語などの紹介を行い、語彙力強化につながる工夫もおこなっています。</p>
-----	---